

報寺寺敬覚

3月号



月刊●敬覚寺報

〒177-0032 東京都練馬区谷原6-8-12
TEL 03(3996)1833 大江義宏

岐阜県大野郡白川村。隣接する富山県礪波郡上平村、及び、平村は明治、大正の頃までも近代的な交通手段からは隔絶した地域でした。中部山岳の豪雪地帯だったこの地方には独特の日本文化と言える、合掌造りの茅葺き民家や、特有の生活文化が残し伝えられています。現在、電源開発の為にダム建設や、様々な観光開発によって近代化の波が押し寄せています。残されたこの地域の歴史的景観と周囲の自然環境は、良好に保存されなければなりません。この地の建造物も、環境も、生活文化も、日本の、いや世界の宝なのです。文化遺産に登録されたのは一九九五年のことです。

うけつがれるもの うけついでいく心

— 世界遺産 —



雪景色の白川村荻町の合掌造り集落

日本国
●白川郷と五箇山の
合掌造り集落

▼二〇〇二年三月一日▲

ハワイ開教・その感動

ハワイ別院輪番

川路 広美



東京でオリンピックが開催された頃のハワイは、一世と若い二世が大活躍した時代です。私は、お寺にも、開教使住宅にも、自動車にも、鍵をかける必要のない住み良い社会で、実にはのびのびと仏教の伝道させていただきました。当時はアロハ塔が代表的な高い建物で、その最上階から美しいホノルル市の全景が見えました。空港等では、パイナップルジュースの無料サービスもあり、いたるところで美しいレイをかけた人々のフラダンスを見る事ができました。従って強盗や殺人といった事件など知る事もなく、実に平和な社会に生かされました。でも当時の生活は大変苦しく、経済的には恵まれない日々でした。私は一世の方々、悪条件の労働に耐え、「子供に立派な教育を」と願い、寺院や日本語学校を建てられた努力に大変心をうたれました。浄土真宗の伝道以前に、私が多くのお寺の学ばせていただきました。一世の方々の子供の教育の土台に、家庭のお仏壇があった事を知らされた時の感動は、そのまま私の伝道の姿勢の土台となりました。

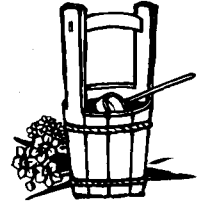
ハワイでは寺院の創立よりも、婦人会の創立の早い教団がありますし日本語学校と共に栄えた教団もあります。お寺の鐘の音に、働いていた仕事の手を休めて、お寺の方を向いて合掌念仏された方々、又、お寺の近くを通る時には、立ち止まって本堂を向いて礼拝をされた人々の日常生活、そして、そのような方々の御法義の話や、親切な態度は、今でも私の伝道上の貴重な手本です。

三月は、浄土真宗のお寺では春季彼岸会の法要が勤修される月でありますね。日本にはすばらしい四季の変化があり、春秋ともにその彼岸会には心暖まるものがあります。ハワイは、日本のように、はっきりとした四季の変化のない常夏の島々ですので、日本の方々が感受されるような春秋の彼岸会の集いは無理です。でも真西の浄土に太陽が還りゆく念いの宗教情操に於いて、ハワイの彼岸会の法座は格別です。特に大きな美しい夕陽が、太平洋の水平線にゆっくり消えてゆく荘厳さは、眺める人々の心の中に、言葉では表現し難いものを味得させているように思えます。

私は約三十年前に、ハワイ州のカワイ島に在りますカバア本願寺の本堂を新築再建させて頂きました。そのお寺の御本尊は第二次世界大戦中、篤信の会員によつて自宅で大事に護られた阿弥陀如来像です。そして、その本堂は真西に向いて建立されており、毎年二回の彼岸会中日には、夕陽が本尊の阿弥陀如来像を真正面から照らすのです。これまた感無量であります。多忙な生活に追いまわされ、自分の姿を見失いがちな私にとりまして、ハワイで迎えます彼岸会には西の彼方の故郷の空にも通じて実に有難い一時であります。

思いますに、もっと交通の安全が保障され、経済の安定が保証されれば、一年二回の彼岸会の一回を、ハワイの夕陽の海岸で、皆さん方と共に勤修致したものです。

彼岸会



経子◇ようやく寒さがゆるんできましたね住職さん。

住職◆やあ経子さん、昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言われてきましたよ。お彼岸を過ぎれば暖かさもぐっと違ってきます。

経子◇春のお彼岸は「春分の日」を中心にした七日間ですね。

住職◆そう。三月二十一日「春分の日」を春のお彼岸のお中日といえます。

経子◇「春分の日」は祝日ですね。

住職◆「国民の祝日」で休日です。「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」として制定されました。

経子◇動植物も春になって元気が出る時期だから大事にしようということかしら。

住職◆ははは、そうかも知れませんが。「春分の日」は、昼夜の時間が等しく、太陽が真東から出て真西に沈む日なのです。宇宙や大自然の中に人間生活が包まれていることが実感できる時でもありますね。

経子◇それでお彼岸の中日なので

住職◆はい「彼岸会（ひがんえ）」

という法要をします。仏教は極端を廢す中道を説くでしょう。その中道を季節で表すなら、春分や秋分の時に当たるわけです。そして、人間界をこちら岸に見れば

悟りのお浄土は向こう岸、彼岸と言えます。彼岸に渡ることが仏道ですから、この時期の法要を彼岸会とよぶのです。

経子◇向こうの岸が彼岸ですね。その彼岸をお浄土といた

く浄土真宗はお彼岸を大切にするのですね。

住職◆そう。悟りの彼岸お浄土は阿弥陀さまの世界です。お釈迦さまは仏説阿弥陀經に「ここより西方に十万億の仏土を過ぎて世界あり名づけて極楽という。その土に仏まします、阿弥陀と号す。いま現にましまして法を説きたもう。」と示しています。

経子◇西方十万億……、随分はるかな遠い世界なのですね。

住職◆いいえ迷いの目からは遠くても、悟りの仏の目ではすぐ近いとも説かれるね。ほら、お念仏を申せば、すぐそこに阿弥陀さまはいらっしゃいますよ。

経子◇阿弥陀さまの名前を呼べばそこに阿弥陀さまの働きがあるのですね。

住職◆お中日は太陽が真西に沈んでいきます。あの西方かなたの極楽浄土、彼岸を思い阿弥陀さまをほめたたえ、お念仏を申すのが浄土真宗の彼岸会といえます。

経子◇なぜお浄土は西方ですか。

住職◆うーん。中国の曇鸞大師は当時の皇帝に同じことを聞かれて「仏の悟りを得たお釈迦さまがそう示されたから、そのままいたただけです」と答えたそうだよ。

経子◇地球上西へ西へと進めば、ぐるっと一周して元に戻ってしまいますね。

住職◆その通りですね。ですから極楽、西方浄土は地球上や人間世界の中での問題でないことが分かるでしょう。まあ、愚かな考えをいえば、西方は明日未来の世界、究極の到達地、結実を意味するのではないのでしょうか。

経子◇そうですね。悟りの彼岸を阿弥陀さまに約束され、ナムンダブとお念仏をいただいて彼岸会を迎えましょう。ありがとうございませう。

経子◇

住職◆

経子◇

住職◆

■春のお彼岸

・三月十八日がお彼岸の入(いり)になります。二十一日(春分の日)がお中日、二十四日がお彼岸の明けとなります。

■ご門主、全日本仏教会の会長に

・浄土真宗本願寺派の大谷光真ご門主は、一月三十一日、全日本仏教会の新会長に選出されました。全日本仏教会は仏教五十九宗派を中心にした日本伝統仏教会では日本唯一の連合団体です。

■戦災記念法要

・三月十日(月)、十三時三十分より築地本願寺慈光院にて戦災記念法要が営まれます。法要の後には「すいとん接待」等も催されます。

お問い合わせ電話〇三―三六二―三〇一―まで

■築地本願寺仏前結婚式

・狂言和泉流の宗家泉元彌さんの結婚式が築地本願寺で挙げられた事はニュース等でご存知の事と思います。人生の節目をおごそかに心から喜べる式をお挙げになりますか。

結婚式相談部 〇三―三五四―一八二八六まで

お仏具を考える

◆打敷◆

お仏壇の正面には阿弥陀如来が中心に安置されます。その前には仏器、三具足、等が配置されます。その三具足を置く卓(つくえ)の上にかける、三角型の布を打敷と申します。浄土真宗独特のお仏具の一つです。他宗ではこの形のものはありません。金襴で織られたものや、定紋の刺繍されたもの、又、夏用の絹で作られたものがあります。四季の移り変わりをとお仏壇の中にも感じることが出来ます。打敷はお仏壇の大きさを言い表す、三十代、五十代、百代、三百代、等のものに合った大きさということで〇〇代の打敷と称されています。布で作られているものですので、どうしても香の煙等で汚れてしまうことがあります。いつまでも置きっぱなしにするのではなく、新しいものと取り替えて、お仏壇の中をきれいに荘厳することが大切です。



日常に使う仏教語

■結構・頂戴・有難い

「このたびは結構な品を頂戴しました。ありがとうございます。」

よく耳にすることはです。

この中、結構・頂戴・ありがとは仏教語からきました。

結構―構えが立派に組み立てられた寺院の建築をいいます。

ここから、どこから見ても申し分のない十分なことを「結構です」と使うようになりました。

頂戴―頭の上に押し頂くさまを頂戴といいます。

浄土真宗で日常使う礼拝聖典の「十二礼」に、観世音菩薩の冠に阿弥陀如来が立たれていることを「観音頂戴冠中住」とあります。

観音さまは阿弥陀さまを常に冠のなかに頂戴しているのです。

有難い―「今のちあることは有難し」の仏典からきたことばで有ることが難い、めったに会うことができないう意味です。

親鸞聖人の「正信偈」の中にある「難中之難無過斯」は「難」が重なっていますが、これは御本願に会えた有難さを表わしています。